

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

主たる事務所の所在地 都城市吉尾町 473 番地の 1
名称 一般社団法人霧島工業クラブ
代表者氏名 代表理事 堀之内 芳久

1 事業の経過及び成果

令和4年度は、主な活動方針を①「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援 ②地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進 ③例会の充実 ④産学官の緊密なネットワークづくり ⑤組織の充実としましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、当初予定した事業の実行が一部制約されたものの、3密を避ける等の感染防止対策を講じながらウィズコロナで活動を推進してまいりました。

① については、政府による新型コロナウイルス対策「まん延防止等重点措置」により「インターンシッププログラム」については中止を余儀なくされましたが、一部日本の外国人入国が緩和されたことから、令和4年6月に卒業した新モンゴル高専卒業生とモンゴル高専技術カレッジ卒業生がマトヤ技研工業株式会社に入社しました。

また、令和4年12月度例会では、当クラブ会員企業3社に現在就労中のモンゴル高専卒業生計5名（大淀開発株式会社様1名、マトヤ技研工業株式会社様3名及び株式会社メタル・テクノ様1名）をご紹介し、会員企業の皆さまとの意見交換等、交流を深めると同時に、モンゴル高専卒業生同士の交流の場を設けました。

② については、平成28年4月より中小企業庁宮崎県よろず支援拠点都城サテライトが都城高専地域連携テクノセンターへ入居され、相談業務を開始されていますが、当クラブの特別会員として在籍しておられるので、都城工業高等専門学校との共同研究も含め、様々な分野で連携して活動を行いました。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、対面の相談からオンライン等での開催できるものについては、極力オンラインで開催されました。

③ については、新型コロナウイルスの警報レベルが引き下げられ、行動制限が一部緩和されたタイミングで、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分講じて、以下の例会及び特別講演を開催いたしました。

令和4年7月度例会では、令和4年3月1日・2日にオンラインで開催されました「令和3年度 都城高専 第1回地域交流・研究発表会」において、一般社団法人霧島工業クラブ大賞並びに都城高専同窓会「深山会」大賞を受賞いたしました専攻科生2名による特別講演を開催いたしました。

また、同時に、一般社団法人霧島工業クラブ大賞受賞者1名、優秀賞受賞者4名並びに都城高専同窓会「深山会」大賞受賞者1名、合計6名の表彰式を開催いたしました。

受賞者は以下の通りです。

- ・一般社団法人霧島工業クラブ大賞
機械電気（電気）工学専攻 財部 駿星
発表タイトル：「機械学習を活用したアナログ計器の読み取りに関する研究」
- ・都城高専同窓会「深山会」大賞
機械電気（機械）工学専攻 星崎 翔太
「小型ピーマン選別装置開発に向けた振動環境下における重量測定手法の検討」
- ・一般社団法人霧島工業クラブ優秀賞
機械電気（電気）工学専攻 中山 泰佑
発表タイトル：「IoT スタンション装置の開発」
- ・機械電気（電気）工学専攻 野口 芹菜
発表タイトル：「微表情による心理状態の推定に関する研究」
- ・機械電気（機械）工学専攻 田中 裕人
発表タイトル：「ソフトロボットによる4足歩行移動体の開発」
- ・機械電気（機械）工学専攻 瀬戸口 大樹
発表タイトル：「複合環境制御を実現する植物育成実験装置の開発に関する研究」

審査にあたっては、学術的・学問的な視点というより社会実装の観点を重視し、志向した実用的・工学技術的な研究を評価いたしました。学術的には今回の受賞者より優れた発表がありましたが、人や社会が抱える切実な課題解決を社会実装の視点で取り組み、社会の様々な課題に対するプロトタイプを試作し、それを実際のユーザーに使用して評価していただき、その結果を改良に反映させるという一連の過程を実践した研究や近い将来への実用化や指導教員以外のユーザー等とコンタクトして培った課題解決能力等も考慮いたしました。

令和4年11月17日には、当クラブ創立30周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。記念講演といたしまして、宮崎公立大学特任教授西村勇先生に、『産学官連携と地域貢献活動の推進について』という演題にてご講演いただきました。西村先生は、国立東京工業高等専門学校工業化学科（有機化学）をご卒業され、ご卒業後は、化学商社入社後、米国百貨店、音楽、映画、出版、システム・ソフトウェア、リスクマネジメント、ネットマーケティング、データ解析等の企業で新規事業開発、海外法人や工場の設立、現法社長・役員等を歴任され、2016年に宮崎大学教授として赴任された際には、地方創生事業をご担当されておりました。2021年には、宮崎公立大学特任教授として、地域貢献の分野でご活躍されております。宮崎大学のCOC+事業では、チーフコーディネーターとして、県内各地の企業や行政と深く関わり合い、人材の地元定着を推進されておりましたので、産学官連携や地域貢献活動に関する大変有益な講演となりました。

令和4年12月度例会の特別講演は、都城高専国際交流センター長（校長補佐）教授の岩熊美奈子先生に『都城高専のモンゴル高専教育支援の現状及びキャリア支援について』という演題にて、ご講演いただきました。都城高専は現在、全国51校の国立高専のモンゴル支援幹事校として、モンゴル国のモンゴル3高専の教育及びキャリア支援を推進していますが、モンゴル3高専のご紹介と活動の現状と今後について、ご講演していただきました。また、特別講演会並びに交流会には、モンゴル高専卒業生5名の他に、都城モンゴル友好協会事務局長の下山隆史様、そしてモンゴル国際交流員のシャルガルフー・ヒシグシャルガル様にもお越しいただき交流を深めました。

「都城高専第2回地域交流・研究発表会」は、第1回地域交流・研究発表会同様、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「まん延防止等重点措置」の適用により、「地域の未来を拓く高専の社会実装活動」をテーマに、令和4年12月26日(月)にオンライン形式での開催となりました。会員企業様による学生の発表審査を行いました。受賞者は以下の通りです。

- ・一般社団法人霧島工業クラブ大賞
機械工学科 鶴瀬 凜太郎
研究タイトル 「日南産オビ杉晩材の仮道管傾角と機械的性質」
- ・都城高専同窓会深山会大賞
建築学科 下村すす
研究タイトル 「伝統産業を活かした持続可能なまちづくりの在り方に関する研究」
- ・一般社団法人霧島工業クラブ奨励賞 7名

なお、特別講演会では、当クラブの概要と活動についてプレゼンを実施し、都城高専と密に連携を図り協力しながら各種の活動を実施していることをご紹介しました。他高専からも大きな反響がありました。

上記例会の他に、九州経済産業局後援による高度外国人材獲得活用セミナーをご案内させていただきました。本WEBセミナーでは、初めて「高度外国人材」の採用を検討したり、これから「高度外国人材」を本格的に採用したい企業の方々に向け、採用・定着のポイントや、在留資格の基礎知識等についての講演が8月24日、9月8日、11月15日、12月15日、令和5年3月17日の5回に亘り開催されました。

また、8月に、宮崎日機装株式会社の敷地に完成した産業用特殊ポンプの工場と医療機器の研究・研修施設を見学させていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染の急拡大により中止を余儀なくされました。完成したのは液化天然ガス（LNG）輸送用のポンプである「クライオジェニックポンプ」などを生産する「インダストリアル工場」及び主に、人工透析装置の保守管理者向けの研修のほか、マイクロ波外科手術デバイス製品を使った手術機器「アクロサージ」の手術見学室等の試験設備医療機器の研究・研修施設「M.ReT（エムレット）宮崎」です。

④ については、都城高専地域連携センターやキャリア支援室と連携し活動を行いました。

- 都城高専在校生向け就職支援講演会へ会員企業から都城高専既卒者を講師として派遣
7/13 清本鐵工株式会社 インフラ建設事業本部 高瀬 大宗 氏
10/19 株式会社MJC 事業本部開発部 中石 丈登 氏
12/7 株式会社サニー・シーリング 製造支援課業務係 柿木 美咲 氏
12/21 大淀開発株式会社 建築部 當瀬 賢司 氏

・インターンシップへの協力

都城高専からの要請を受け、大淀開発株式会社や宮崎日機装株式会社等、多くの会員企業が都城高専の本科生と専攻科生の学生を受け入れインターンシップを実施しました。

・新規卒業生やUターン希望者の就職受け入れ（特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けUターン希望者増加）

・都城高専建築学科学生が都北産業株式会社現場を見学

都城高専は、7月22日、建築学科1年生を対象とした現場見学会を都城市内で開催しました。参加した41人の学生や教師が、市内で施工中の建築現場等を見て回り、建設業に対する理解と見識を深めました。現場見学会は、学生の卒業後の進路をより明確にすることを目的に開催したもので、当クラブ会員企業の都北産業株式会社が協力し、同社が施工するRC造のマンション建設現場と山之口運動公園の陸上競技場建設工事の現場で行われました。マンション建設工事の現場では、施設の規模や工事の流れ、進捗状況、建造物を建設するにあたって必要な資材や機材等について説明されました。

・国立高等専門学校機構主催 KOSEN EXPO（コウセン エキスポ）2022

日時：2022年10月24日（月）～28日（金）オンライン開催

配信ツール：Microsoft Teams ライブイベント

『研究・教育の成果の社会実装を目指す高専』と『高専の技術・アイデアを活用した課題解決を目指す企業・団体等』との、連携（マッチング）を目的としたイベントですが、多くの会員企業様にご参加いただきました。

・令和4年度都城高専合同企業説明会共催

日時：令和4年11月16日（水）14:40～16:10（特別活動時間90分間）

場所：都城高専 第一体育館

例年、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに翌年春より就活を開始する本科4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、（一社）霧島工業クラブと共催にて合同企業説明会を開催していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により3密を避けることが求められ、第一体育館に各企業のブースを設けて学生が各企業のブースを訪問する形式が取れませんでした。令和4年度は令和3年度に引き続きコロナが落ち着いていた時期であった為、例年通り第一体育館にて対面式

により開催することができました。

学生が働くことやキャリアを考え、業界・企業の理解を深める為、人事担当者や先輩と面談をする機会として、本説明会を開催し、企業研究のメリット等の理解を図るとともに、学生が、今後より一層多角的な視点からキャリアデザインを行うための情報提供を行う目的で開催されたものですが、高専出身者の受け入れ実績のある企業、または採用やインターンシップ受け入れ計画のある企業、合計34社が参加しました。

企業紹介パンフレットを作成し事前に学生に配布後、学生は特別活動の時間にローテーション表に従い、指定された各ブース番号の企業から説明を受けました。参加した学生は興味津々で真摯に企業の方々の説明を聞いていた様子がうかがえ、また、都城高専卒業生も学生からの質問に対し丁寧に応えていたのが印象的でした。

・高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会開催

高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会が、霧島工業クラブの会員企業を招待して開催され、会員企業より多くの見学者がありました。

日時：令和4年10月26日（水）17：30～19：00

場所：都城高専 第一体育館

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できませんでしたが、令和4年度は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染が減少傾向にあったことから、対面式での開催が可能となりました。

多くの会員企業の皆様に参加いただき、実物をご覧になりながら手に触れることのできる対面式での開催となりました。各企業のエンジニアの方や高専卒業生が学生の説明に熱心に聞き入っておられるのがとても印象的でした。また、ロボコン制作局の学生たちは、今年も、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらのロボット制作は大変だったろうと思います。このお披露目会に向けて、地区大会出場マシンの調整を一生懸命頑張ってくれたと聞いていましたが、その成果をこのお披露目会で、十分に発揮できたのではないかと思います。

お蔭様で、10月30日に熊本県合志市で開催されました高専ロボコン九州沖縄地区大会で特別賞をいただき、11月27日に東京両国国技館にて開催された高専ロボコン全国大会では、今年度から協賛をいただいている牧野フライス様から「特別賞」を、特別審査員から「アイデア倒れ賞」を受賞し、全国で唯一のダブル受賞となりました。

・第10回おもしろ科学フェスティバル後援

当クラブが後援する「第10回都城高専おもしろ科学フェスティバル」が11月13日（日）都城市まちなか広場にて開催されました。本イベントは、小中学生を中心とした未来ある子どもに、ものづくりと科学のおもしろさを伝え、地域や世界で活躍できる人材を育成し、少しでも科学技術の底上げに寄与することを目的に実施していますが、新

型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、午前・午後の事前申込み制とし、規模を縮小して実施しましたが約 200 名の方々にご参加いただき、すべて盛況のうちに終了しました。

会員企業のマトヤ技研工業株式会社様、株式会社サニー・シーリング様並びに宮崎日機装株式会社様にご協力いただき、各ブースは大盛況でした。子どもたちも久しぶりの科学イベントを笑顔でとても楽しんでいました。今後も地域の小中学生への科学振興を推進するため、都城高専の小中学校理科教育支援に関する活動に御理解と御協力のほどよろしく御願ひ申し上げます。

・令和4年度都城市企業立地推進ネットワーク会議

令和4年度都城市企業立地推進ネットワーク会議は書面決議となりました。

⑤ については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を最小限にし、現状の会員企業 55社を維持することを目標としましたが、お陰様で、4社減、6社増の合計57社となり、令和3年度より2社増となりました。

2 事業内容

(1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）

令和4年7月度例会では、「令和3年度 都城高専 第1回地域交流・研究発表会」の一般社団法人霧島工業クラブ大賞並びに都城高専同窓会「深山会」大賞を受賞しました専攻科生2名による特別講演と同時に、受賞者計6名の表彰式を開催いたしました。

また、「都城高専第2回地域交流・研究発表会」は、「地域の未来を拓く高専の社会実装活動」をテーマに、令和4年12月26日(月)にオンライン形式での開催となりましたが、一般社団法人霧島工業クラブ大賞並びに都城高専同窓会「深山会」大賞を受賞しました2名並びに奨励賞7名の表彰式を卒業式後に開催いたしました。

(2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）

例年、8月に開催しています「都城圏域産学官金交流会」は、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い対面での面談が厳しい状況となる中、宮崎県独自の緊急事態宣言に伴う行動要請等が発令された為、中止としました。

(3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

例会時特別講演

① 実施期日：令和4年7月18日

- ・演題：「機械学習を活用したアナログ計器の読み取りに関する研究」
講師：都城高専 機械電気（電気）工学専攻 財部 駿星氏
- ・演題：「小型ピーマン選別装置開発に向けた振動環境下における重量測定手法の検討」
講師：都城高専 機械電気（機械）工学専攻 星崎 翔太氏

② 実施期日：令和4年11月17日

演題：「産学官連携と地域貢献活動の推進について」

講師：宮崎公立大学 特任教授 西村 勇氏

③ 実施期日：令和4年12月10日

演題：「都城高専のモンゴル高専教育支援の現状及びキャリア支援について」

講師：都城高専 国際交流センター長（校長補佐） 岩熊 美奈子氏

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

① 高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会開催

期日：令和4年10月26日（水）（於：都城高専 第一体育館）

内容：高専ロボコン九州大会出場実機の見学会

会員企業を招待して対面式にて開催

「ロボット及びメカトロに関する研究の奨学資金」目録贈呈

② 企業視察研修会

期日：令和4年8月開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から中止となりました

視察先：宮崎日機装（株）「インダストリアル工場」及び「M.ReT（エムレット）宮崎」

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

① 宮崎県産学官交流会

本県工業の振興、さらには地域社会の発展のため、県内企業や関係団体が、業種、業態等の相違にかかわらず交流を深めることを目的に例年開催されますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から役員のみによる定時総会だけとなり、通常の交流会は中止となりました。

②（一社）宮崎県工業会 県西地区部会 通常総会及び懇親交流会

例年、（一社）宮崎県工業会の都城市を中心とする県西地区部会の会員企業による総会と交流会が開催されますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から役員のみによる定時総会だけとなり、通常の交流会は中止となりました。

③ 第29回技術・研究発表交流会

産学官金等各機関による連携事業の推進を目指すことを目的とし、毎年「技術・研究発表交流会」にて、地域交流講演会（宮崎県産学官連携コーディネート講演会、イノベーション共創プラットフォームセミナー）、宮崎県産業振興機構共同研究事業成果報告、ポスター展示、発表（ディスカッション）が開催されますが、令和4年度は9月2日に宮崎大学にて開催されました。

④ 都城市企業立地推進ネットワーク会議

都城市の産業経済の活性化及び市民の雇用機会の拡大に向け、官民一体となった企業立地推進の取り組みとして、市の企業立地に関するPR力及び企業立地に役立つ情報収集力の強化の為、行政、商工、農林業、学術研究、金融、インフラ等に携わる方々が参加し、企業立地の現状、取組、優遇制度の改正等について、意見交換を行います。令和4年度は書面会議となりました。

⑤ 都城市産業活性化講演会

都城市と都城市認定農業者等協議会が主催し、当クラブを含む9団体が後援して、都城市の農業者と商工業者が一堂に会し、取り巻く社会情勢の課題と将来への展望を明らかにして、地域のリーダー・経営者として地域とともに発展することを目指して開催

参加者：行政、商工、農林業、金融等に携わる方

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

⑥ 都城高専4年生校内研修

都城工業高等専門学校では、夏にインターンシップを控え翌年に就職活動がはじまる4年生に対し校内研修を開催していますが、その目的は、学業及び生活面における自主性と責任感を自覚させ、また、卒業後の就職や進学に向け現在の学生生活の在り方を考えさせることです。この研修の全体特別講演会で、当クラブ会員企業のマトヤ技研工業株式会社代表取締役社長の豊増敏夫氏が講演されました。尚、令和4年度はコロナ禍での開催となったため、オンライン講演の形式で開催されました。

対象：4年生全体（約160名）

日時：令和4年4月15日（金）

場所：録画した講演会の映像をリモートで視聴

講師：マトヤ技研工業株式会社 代表取締役社長 豊増 敏夫氏

⑦ 都城工業高等専門学校・就職支援講演会

都城工業高等専門学校ではキャリア教育の一環として、本科低学年生（1～3年生）を対象とし、高専OB・OGをはじめとする企業人を講師に招き、毎年就職支援講演会を開催しています。特に、3年生は4年生の夏休みには全員インターンシップに参加することになり、翌年の春には実質的な就職活動が始まる為、なるべく早い時期から、企業研究をスタートすることが重要となってきており、当クラブ会員企業がオンライン形式で講演しました。

実施期日：令和4年7月13日

演題：「清本鐵工株式会社の魅力と働き甲斐について」

講師：清本鐵工株式会社 インフラ建設事業本部 高瀬 大宗 氏

実施期日：令和4年10月19日（水）

演題：「株式会社MJCの魅力とIT業界の魅力」

講師：株式会社MJC 事業本部開発部 中石 丈登 氏

実施期日：令和4年12月7日（水）

演題：「株式会社サニー・シーリングの魅力と働き甲斐について」

講師：株式会社サニー・シーリング 製造支援課業務係 柿木 美咲 氏

実施期日：令和4年1月19日

演題：「大淀開発株式会社 の魅力と働き甲斐について」

講師：大淀開発株式会社 建築部 當瀬 賢司 氏

⑧ 都城工業高等専門学校・合同企業説明会

毎年、都城工業高等専門学校と当クラブが共催し、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、キャリア教育の一環として、都城工業高等専門学校の都城高専第一体育館にて合同企業説明会を開催していますが、令和4年度は、会員企業34社が参加しました。

⑨ 都城工業高等専門学校・第10回おもしろ科学フェスティバル後援

都城工業高等専門学校が、小中学生を中心とした未来ある子どもたちに、科学のおもしろさを伝え、将来の日本の産業界を支える為の人材育成に寄与する目的で開催した「第10回おもしろ科学フェスティバル」を後援しました。

開催日時：令和4年11月13日（日）

場所：都城市まちなか広場

来場者数：約200名

⑩ 令和4年度都城高専評議員会

都城工業高等専門学校の教育研究活動、地域貢献活動等運営に関する重要事項について審議し、学校長に対し助言を行うことを目的として設置されている評議員会に、毎年、評議員として当クラブ代表理事が参加していますが、都城工業高等専門学校では、評議員からの意見等を踏まえ、今後の教育研究や学校運営等に活かしています。本会議終了後、学内施設の地域連携テクノセンター及び図書館の視察を行いました。

開催日時：令和5年3月13日（月）

場所：都城高専図書館1階ICTみやまルーム

⑪ 都城工業高等専門学校・モンゴル3高専に対するキャリア支援への協力
都城高専は、高専機構が推進するモンゴル3高専への教育及びキャリア支援について、全国51校の国立高専の幹事校となっていますが、高専機構よりの要請を受け、モンゴル3高専（IETモンゴル高専、新モンゴル高専、科技大高専）の高専生の雇用の促進に力を入れています。

⑫ JST さくらサイエンスプログラムへの協力支援
都城工業高等専門学校では、12月2日～9日にさくらサイエンスプログラムとして、アジア太平洋ロボコン（ABUロボコン）と高専ディープラーニングコンテスト（DCON）に参加するモンゴル3高専（モンゴル高専技術カレッジ・新モンゴル高専・モンゴル科学技術大学附属高専）から9名の学生と2名の教員を招へいして、技術研修を行いました。その期間中にマトヤ技研工業株式会社の工場見学を実施しました。マトヤ技研工業株式会社には、モンゴル高専の卒業生が就職して働いており、日本での就職を希望している学生たちは、その経験談に大きく耳を傾けていました。工場内では、オーダーメイドで開発されている食肉加工用の機械が並び、興味を示した学生から設計開発者への質問が繰り返し行われていました。

⑬ 令和4年度都城高専専攻科「創造デザイン演習」外部評価会への協力支援
都城高専専攻科では、将来必要となる幅広い知識や技術力、創造力、開発全体を掌握できるマネジメント能力等を修得・育成させることを目的として、「創造デザイン演習」を開講していますが、本開講科目では、専攻の異なる学生がチームを編成し、与えられたテーマに沿って、これまで培ってきた各専門分野（機械・電気・物質・建築）における知識や技術力を生かし、社会実装を目指したモノづくり教育を行っています。その教育の一環として、製作物のアイデアや設計、試作品に関するプレゼンテーションについての外部評価会を2回に亘り開催しました。

実施期日：令和4年9月28日（水）

テーマ：「防災・減災」

実施期日：令和5年2月13日（水）

テーマ：「デジタルトランスフォーメーション」

場所：都城高専多目的ホール

外部評価員：株式会社坂田電機宮崎研究センター 課長 斎藤 茂 氏

⑭ エジプトからの視察団が宮崎日機装株式会社を訪問
令和4年7月27日（水）にエジプトの高専設立検討メンバーとJICA東京、JICAエジプトより視察団が都城高専に来校しました。エジプトでは日本型の高専教育システムの導入に向けて検討中であり、今回は高専の教育現場を視察するために来日しました。7月28日（木）には、当クラブの会員企業で、全国高専からの多くの卒業生が勤務する日機装グループの宮崎日機装株式会社を

訪問しました。宮崎日機装株式会社で働いている高専卒業生4名と面談し、高専で身に着けたスキルが現場でどのように生かされているかを視察しました。

- ⑮ 高専制度60周年記念事業及び都城高専創立60周年記念事業への協力支援
高等専門学校、いわゆる「高専」の制度が始まってから60年を迎えたことを祝い、令和5年3月17日に都城高専キャンパスで和田校長をはじめ関係者がハナミズキの苗木を植樹しました。当クラブからも堀之内代表理事が招待され、植樹を行いました。高専制度は昭和37年に始まり、昨年、60周年を迎えましたが、都城高専は、昭和39年の東京オリンピックの年に開校しましたので3期校となり、来年が創立60周年となります。

今後、当クラブとしましても、都城高専創立60周年記念事業への協力支援を推進してまいります。

- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）
実施事業なし